

# 目次

はしがき

## 第1章 講義『処罰社会』での分析…………… 1

第一節 政治闘争から監獄闘争へ 1

第二節 刑罰の方法と「処罰社会」 16

## 第2章 『監獄の誕生』を読む1——刑罰改革と規律社会の到来…………… 33

第一節 審判と処罰を結ぶ身体刑 33

第二節 「法の庭園」と「矯正施設」 47

第三節 規律と権力 69

第四節 パノプティズム（一望監視方式） 84

## 第3章 『監獄の誕生』を読む2——犯罪性概念と違法慣習…………… 98

第一節 ミクロ物理学と実践の分析 98

第二節	刑法と刑罰の不一致（歴史的テーゼ）	105
第三節	監獄の成功（機能的テーゼ）と犯罪性概念	115
第四節	「違法行為」の系譜と犯罪の「自明性」	121

#### 第4章 フーコーの分析と犯罪学の言説……………

はじめに——犯罪学の「おしゃべり」 134

第一節 犯罪学の基底構造 141

第二節 ラディカル・クリミノロジーの批判と現象学的課題 158

第三節 犯罪学の言説と権力の分析 173

第四節 刑罰改革と社会統制の拡散 187

#### 第5章 フーコーの分析と刑罰学の言説……………

第一節 「予防」を導く言説空間 204

第二節 刑法が「危険性」に向き合うとき 212

第三節 刑罰が「監獄」という形態をとるとき 225

おわりに 233

第6章 『監獄の誕生』後の刑事政策……………

第一節	一九世紀における危険性を介する精神医学と刑事司法の接近	242
第二節	二〇世紀はじめの社会防衛論の所産	247
第三節	一九七〇年代以降の危険性概念への批判	252
第四節	危険性との闘いからリスク管理へ	257
おわりに		262